

# 文部科学省・丸山洋司文部科学審議官の へき地・小規模校教育推進講演会

## 「令和の日本型学校教育と へき地・小規模校教育に 期待するもの」

### 開催のお知らせ

- 日 時 令和3年11月5日（金）15時30分～17時00分
- 講 師 文部科学省文部科学審議官 丸 山 洋 司 氏
- 主 催 北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター
- 共 催 全国へき地教育研究連盟
- 参加方式 Zoomにより開催（参加無料）
- 申込期限 令和3年10月26日（火）

※ 申し込まれた方に、講演会前日までにオンライン参加のためのZoomのミーティングURLをメールによりお送りします。多くの方のご参加をお待ちしております。

裏面へ続く 

- 申込先 北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センターHP

URL : [https://www.hokkyodai.ac.jp/edu\\_center\\_remoteplace/](https://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/)



- 申込方法 上記 HP の申込フォームによりお申込みください。

- お問合せ先 北海道教育大学教育研究支援部連携推進課（担当 小林）

電話 : 011-778-0942 ファクス 011-778-8376

E-mail : [crc.hokkyodai.ac.jp](mailto:crc.hokkyodai.ac.jp)

\*\*\*\*\*

「令和の日本型学校教育」では、ICT 活用を含めた個別最適化教育や協働教育など、新しい教育活動が求められています。へき地・小規模校では、すでに遠隔双方向教育・少人数の協働的学習活動・体験学習活動・地域探求活動などの様々な学習活動も展開しています。また少人数の中で社会性を育てる活動、インクルーシブ教育活動、地域と一体化した活動も積極的に推進されています。これらの教育活動は、「令和の日本型学校教育」活動の中でも重要な課題であるとともに、へき地・小規模校教育の取組をいかすことができるものです。今後の日本の教育活動の新しい在り方を考える時に、へき地・小規模校教育の持つ意義を改めて捉え直すことが重要です。本講演会では、現代の教育課題に対応したへき地・小規模校教育の可能性を捉えたいと思います。